

関東昆虫学研究会 第 4 回大会プログラム

日時 2021 年 2 月 20 日(土) 12:50～18:00

会場 Zoom によるオンライン開催

*URL は別途お知らせいたします

大会次第

12:50～12:55 開会 大会長 小野正人

12:55～13:00 Zoomによる大会進行について 大会事務局 原野健一

13:00～17:45 一般講演

1. トビロケアリの創設女王における胸嚢の発達と給餌に関連する組織の変化
○栗原雄太(玉川大・院・農)・田中寛海(玉川大・農)・千葉雄大(玉川大・農)・宮崎智史(玉川大・院・農)
2. 近接して営巣したキアシナガバチの血縁構造
○西村正和(玉川大・院・農)・小野正人(玉川大・院・農)
3. キイロスズメバチ雄の加齢に伴う交尾行動活性と脳内アミン量の変化
○渡邊 智大・小沼 貴文・西村 正和・小野 正人・佐々木 謙(玉川大・院・農)
4. セイヨウミツバチ雌の変態期におけるエクジステロイド投与と脳内ドーパミン量への影響
○小沼貴文(玉川大・院・農)・加藤慎一郎(玉川大・農)・佐々木謙(玉川大・院・農)
5. キムネクマバチ雄のなわばり飛翔時刻と採餌時刻の配分
○佐々木謙(玉川大・農)・後藤健太(玉川大・農)・原野健一(玉川大・ミツバチ科学)
6. ハリナシバチ *Melipona subnitida* のコロニー防衛におけるプロポリス利用:ブラジル滞在報告にかえて
○原野健一(玉川大・ミツバチ科学)・Michael Hrnčir・Camila Maia-Silva(UFERSA)
7. ミツバチが形成する生きた鎖
吉村翼(安田学園高校・生物部)
8. イナゴ最新事情:『イナゴはどこに消えたか?』
平井一男(自然環境観察会)
9. 東京都日野市におけるクマゼミの発音活動場所および樹種と樹高
津吹卓(日野市)・津吹真(都立大・院・理)

(休憩 15 分)

10. 八王子南部の鍬水谷戸水田におけるトンボ目成虫の季節的消長
○福原佳奈・岩見徳雄・田口正男(明星大・理工)
11. Quantitative analysis of nutritional trophic niche of organisms in organic paddy field
○Aint Thet Htar Oo and Tarô Adati (Tokyo University of Agriculture)
12. 流木を利用するヒラタカメムシ類の分布調査
嶋本習介(東京農大・農)

13. ニセイネゾウムシ属(コウチュウ目:イネゾウムシ科)の分類学的研究
○松本健児(東京農大・院・農)
14. ヒメハナカミキリ属の雄交尾器内袋について
原田惇作(東京農大・院・農)
15. 屋久島から発見されたオノヒゲアリヅカムシ属(コウチュウ目, ハネカクシ科, アリヅカムシ亜科)について
○樽宗一朗(東京農大・農)・野村周平(国立科博)
16. ハスモンヨトウから発見されたイフラウイルス様配列の系統解析
○佐藤 嘉紀(東京農大・院)・長峯 啓佑(農研機構・生物研)・新谷 喜紀・菅野 善明(南九州大・環境園芸)・足達 太郎(東京農大)
17. 昆虫の陸上適応に関する考察
○朝野維起(都立大・理)・橋本晃生(高崎経済・地域政策)」
18. 昆虫が飛ぶために必要な遺伝子:昆虫特有の弾性タンパク質をコードする遺伝子の機能解析
○萩原翠唯那(都立大・理)・相垣敏郎(都立大・理)・朝野維起(都立大・理)

17:45~17:55 総会

17:55~18:00 閉会 研究会会長 原野健一

○講演につづいて、質疑の時間を設けます。質問等がある方は Zoom の「参加者」ボタン内にある「手を挙げる」ボタンを押してください。

○講演キャンセル等があった場合、その後の講演を繰り上げて進行する場合がございます。

○本大会の一般講演などの録音、録画及び画面の撮影(動画とスチル写真も含む)は禁止いたします。

講演をされる方へ

○講演 12 分間、質疑応答 3 分間の計 15 分(1 鈴 10 分, 2 鈴 12 分, 終鈴 15 分)。

○発表の順番になりましたら, Zoom でパワーポイントのスライドショー等を共有し, 座長の合図で発表をはじめてください。

○不明な点等は大会事務局にお問い合わせ下さい。

大会事務局 原野健一 Email: kharano@lab.tamagawa.ac.jp

【参加者名簿は当日配布いたします】